

バイオマス活用アドバイザー プロフィールシート

	【名前】 高原 泉
	【現職（所属）】 株式会社メリーズ・ジャパン 楽しい株式会社 ハチドリの樹；バイオマスタウンアドバイザー事務所
【略歴】 1995年から17年間、住金物産株式会社・楽しい株式会社にて生ごみリサイクルを手掛ける。2009年1月にバイオマスタウンアドバイザー。その後、滋賀県多賀町、和歌山県高野町、山梨県北杜市のバイオマスタウン構想策定を手伝う。2011年11月から北杜市バイオマス活用推進計画協議会アドバイザー。2010年楽しい株式会社グループが「バイオマス活用推進手法」として北九州発「新資源化システム」の取り扱いを開始。中小地方公共団体や離島、食品工場などに、①生ごみリサイクル、②廃プラや廃食用油・各種バイオマス等の油化・炭化、③木質バイオマス等の炭化の3種の技術で90%以上のゴミ減量リサイクルをアドバイス中。	
【得意分野】 ①生ごみ堆肥化リサイクルシステムの構築。 臭気のない、個別にまたは、既存収集業者と組んでの減量堆肥化システム構築。 学校・住宅・病院・食品工場など多様な業界での経験あり。 ②廃プラ・廃食用油・木質バイオマス等の油化・炭化システム構築 採算性の高い5t/日未満の小型装置を活用。 ③各種バイオマス等の炭化システム構築。 採算性の高い5t/日未満の小型装置を活用。車載方式も可能。	
【バイオマス利活用に関する取組・一言コメント】 「新資源化システム」は地域内で循環を行います。従来のようにバイオマスや廃プラを多額の費用を掛けて燃やしてしまうのではなく、「再生可能エネルギー」として地域に還元する、経済性の高いシステムです。 楽しい株式会社では平成23年度に北九州市の助成を受け、「新資源化システム」の実証を行い各種のデータを得ました。 従来の焼却と比べ、60%以上のCO2削減効果（LCA評価）も確認されました。 ごみ処理経費の削減方法に頭を悩ませておられる事業や、中小地方公共団体・離島に、既存の収集システムとの共存も含めた「新資源化システム」構築をお勧めしています。	